

オンライン授業開始にあたっての東京大学のこれまでの取り組み・
現状・ドタバタ大学間連携の提案

情報基盤センター 田浦健次郎

フェーズ

- ◆ フェーズ0 (3/2～) : 意識
- ◆ フェーズ1 (3/9～) : 準備開始
- ◆ フェーズ2 (3/18～) : 本当の始まり
- ◆ 現在何が起きているか

フェーズ0：意識（3/2～）

- ◆ 本センターとして、コロナ感染に備えた行動を起こすべきという意識の高まり
- ◆ 喜連川先生に学会DEIMのオンライン開催の事例を教えていただいた（3/2）
 - ◆ 実際に労をとった合田和生先生にも「実際のところ」を教えていただいた
 - ◆ 当時の自分「TV会議って何百人もつなげるものなの？」というレベル
- ◆ ただし思えば当時の「意識」は「在宅勤務、会議のオンライン化」というレベル

フェーズ1 (3/9～) : 準備開始

- ◆ 会議オンライン化のツールを学内に周知するも、4月からの授業オンライン化への「備え」が必須と認識
 - ◆ しかしこの時の雰囲気は「必ずそうなる」という雰囲気ではなかったと思う（もう思い出せない）
 - ◆ 3/13開催：「授業のオンライン化を**念頭に置いた**TV会議ツールと使い方説明会」というタイトルにそれが表れている

フェーズ1の問題意識

- ◆ 当初からわかっていたこと
 - ◆ 大学全体に迅速・混乱のない情報提供・発信が必要
 - ◆ 一番の困難は「新入生」にどう備えをさせるかということ
 - ◆ それ（何を準備するか）をどう伝えるかということ

フェーズ1：活動1

- ◆ ポータル <https://utelecon.github.io/> 作成
 - ◆ 基盤センター - 大学総合教育研究センターの連携
 - ◆ Github pages を選択したのは小さいが重要な決断
 - ◆ Markdownでガシガシ編集が容易（× Google Site）
 - ◆ 組織と無関係。協力者拡大（× 基盤センターHP）
 - ◆ まともな見た目のページを容易に作れる

フェーズ1：活動2

- ◆ 「新入生への通知文」を書き換える
- ◆ 大きな大学ではこういうのがえてして難しいが、基盤センター-教養学部の連携プレー

(1) 東京大学合格者情報登録システムURLの1ページ目の前文で以下のように宣言する.

2020年度の夏学期, 東京大学では多くの授業をオンライン授業形式(学生が自宅からインターネットを介して参
します. 以下は自宅から授業を受けられるようにするために必須の, 極めて重要な情報です. 必ず熟読し, 実施す

(2) 東京大学合格者情報登録システムURLの2ページめで学生に送られる情報 (これまでは 1. UTokyo Account
会 について書かれていたページ) の

2. ECCS講習会

こんなことを他部局から言われ
て受け入れてくれた教養学部

を削除し, 以下に差し替える.

2. オンライン授業を受けるための準備

以下のページの指示を理解し, 確実に実行してください. 以下のURLは同時に送られたメールからも参照されて
リックしてください.

東京大学2020年度新入生のための, オンライン授業を受けるための準備

<https://utelecon.github.io/oc/>

(3) 学生に送られるメールの最後にも, (2) と同じ情報を載せる

フェーズ2 (3/18~) : 本当の始まり

◆ 3/18 総長メッセージ

- ◆ 対面での講義は最小限とし、オンライン化を奨励し推進する

◆ 3/19 太田邦史教養学部長から新大学1年生へのメッセージ

- ◆ 私たちの基本的姿勢は、どのような状況になっても、皆さんにできる限りこれまでと同様の教育を届けたいというものです。教育者として、皆さんの健康を第一に考えながらも、若者が被る教育面での損失を最小限に留める、感染症対策のために教育から取り残される者が一人もいないようにする、そのために何ができるか考えて参りました
- ◆ 3000+ の新入生へポータルURLを見るようメッセージが飛んだ瞬間

新入生への案内

- ◆ <https://utelecon.github.io/oc/>
- ◆ 新入生・在學生のための, オンライン授業を受けるための準備

学生の皆さんにしておいてもらいたい準備

オンライン授業を受けるための準備は大きく言って二つです

- ひとつは, これまでも東京大学で使われている, 教育のための情報(ICT)システムを, 正しく使えるようにすることです. キャンパスで毎日顔を合わせていれば, ぼうっとしていても, 重要な情報を教室の中で友達から教えてもらったり, サークルの先輩から教えてもらったり, 他の人の会話から偶然得たりすることが出来るものですが, 登校が制限されているとそういうわけには行きません. 各自がチェックすべき情報源を正しくチェックしていることや, 自分の連絡先(メールアドレスなど)が然るべき場所に登録され, 連絡がつくようになっている, ということがとても大事になります.
- もうひとつは, TV会議システムにつなげる機器を準備しTV会議にちゃんとつなげることを確認しておくことです. 上でも述べましたが「機器」は特別なものではなく, 普段パソコンやスマホなどで動画を見ていれば, TV会議のソフトが使えると思って良いです(授業を受けるにはスマホではなくパソコンをおすすめしますが, ここに書いてある準備はスマホでもできます). 普段からスマホを軽やかに使いこなしている若者には決して難しいことではないのですが, 機器にはトラブルがつきものです. 必ず「ちゃんとつなげることを確認しておく. 確認された機器で授業に臨む」のが大事です. 詳しくは, 下で述べます.

現在何が起きているか

- ◆ 「やってみたが動かない」というメールの嵐への対応
 - ◆ 大学のICTシステムの難しさ（不親切さ？）が露呈
- ◆ 「できた」という人の数が増える
- ◆ 協力の輪が広がる
 - ◆ センター内（テスト、メール対応）
 - ◆ 他の部局（資料共有など）
 - ◆ 学生（TAからの参加申し出）